

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email : gakkou@jpschool.cz

No.906 2018/2/1

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

目の前の相手を大切に・そして拍手について

皆さん、おはようございます。

(1月30日朝会校長講話)

今日は、ふたつのお話をしましょう。まず、プラハ日本人学校の大切な「3つの出会い」については何度も何度も話していますが、覚えていますか。お友達や仲間との出会い、チェコとの出会い、そして、自分との出会いです。ところで、出会いで大切なことは何でしょうか。(「あいさつかなあ・・・」)そうですね。「あいさつ」という答えがきっと返ってくると思えました。では、なぜあいさつが大切なのでしょう。あいさつは、「目の前にいる人を大切にしたい」という気持ちがあると自然に出てくるからだと思います。先日5年生以上の多くの方が、チェコ日本友好協会の新年コンサートに出演しましたが、入り口に素敵な黄色いレンギョウの花が飾ってあったのに気づきましたか。レンギョウは4月にならないと咲かない花ですが、わざわざ暖めて花を咲かせて持ってきてくれたのでした。「ありがとうございます」と感謝の気持ちが自然に出ていました。同じように、毎日の出会いの中で、目の前にいる人を大切にしようと思えば、あいさつは自然と口をついて出てくるものだと思います。毎朝、全員が校門で校長先生に元気にあいさつをしますが、先生の横に立ってくださっているガードマンさんへのチェコ語のあいさつも大丈夫ですか。

また、授業での学びあいでも、目の前の相手を大切に考えてください。相手の気持ちを考えてあげる、相手がわかるように伝えてあげる、自分の言っていることがきちんと相手に伝わっているかを考えてあげる。そして、自分のために一生懸命に説明してくれているんだなって気持ちがないと、学びあいはうまくいきません。

そして、今日はもう一つ、拍手の話しましょう。あいさつのように、拍手が自然にわいてくるときがあります。「すごいね」「すばらしいよ」って感じた時に、自然にぱちぱちとたたきたくなるものです。でも、それ以外にも、チェコを含めたヨーロッパやアメリカでは拍手がわくときがあります。「自分もそう思います」「大賛成だ」「そうだ！」って思ったときです。これはあまり日本にはない習慣ですが、チェコではよく見かける風景だと思いませんか。そんな自然な気持ちの表し方も素敵だなと思いました。さて、今日の校長先生のお話はどうでしたか。(拍手)ありがとう。

慶応大学ワグネルソサエティーオーケストラの演奏会のお知らせ

すでに配布しましたように、2月25日午後7時30分から慶応大学ワグネルソサエティーオーケストラがグスメタナホールで演奏します。非常にレベルの高い演奏ですので、ぜひご鑑賞下さい。無料ですが、事前に予約メールが必要ですので、下のアドレスに送信下さい。

musica.praha@seznam.cz

